

Ki・Te・Ne
やまぐち

プロボノ活動 レポート

2023年度版

プロボノ活動レポート 2023年度版

発行者：山口県環境生活部県民生活課
企画編集：特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21
(Ki・Te・Ne やまぐちプロボノ)

E-mail: jimukyoku@kitene-yamaguchi.com
初版：令和6年3月発行



目次

1. プロボノとは	P1
-----------	----

2. プロボノ事業の概要	P1
--------------	----

3. プロボノワーカーバンクについて	P2
--------------------	----

4. プロボノワーカーバンク情報	P3
------------------	----

5. 今年度の支援実績	P5
-------------	----

- NPO法人いわくにネットワークグループ
- NPO法人エコフレンズいわくに
- 認定NPO法人こどもステーション山口
- NPO法人シンフォニーネット
- NPO法人つなぐ
- 長門郷土文化研究会
- 檜原ゆうあい会
- 日本ボーイスカウト山口県連盟山口第3団

- NPO法人フードバンク山口

- NPO法人ほうふグローバルネット

- ポポメリー

- YAPフレンズ

- 山口県ボッチャ協会

- 認定NPO法人山口せわやきネットワーク

6. ワンデイプロボノ活動報告	P33
-----------------	-----

7. アンケート結果について	P35
----------------	-----

「プロボノ」とは

ラテン語の「Pro Bono Publico」（公共善のために）が語源で、
仕事上身に付けた専門的な知識や技術を活かして
社会貢献するボランティア活動を意味します。

プロボノ事業の概要

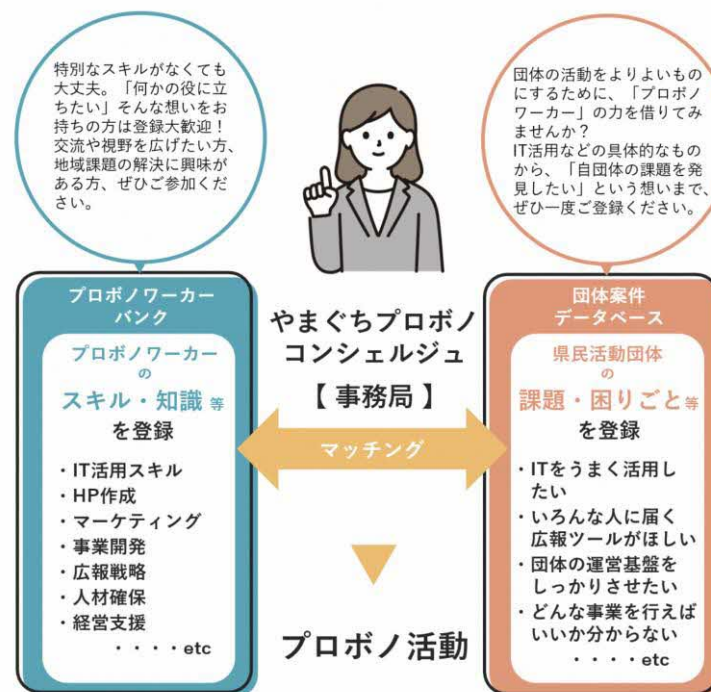
山口県内の県民活動団体が
年間を通じてプロボノを利用できる体制を整備し、
プロボノの活用により
団体の人材の育成・確保及び財政基盤の強化を
目的に行う事業です。

プロボノに関する事業は2020年度から実施しており、
今年度は全国から延べ59名が
プロボノ活動に参加しました。

「やまぐちプロボノワーカースタンプ」

2023年7月からプロボノワーカースタンプが稼働しました。
プロボノワーカースタンプは、自分のスキルを活かして、
山口県内の県民活動団体が抱える課題を解決したい！
という方々に、プロボノワーカースタンプとして登録してもらう制度です。

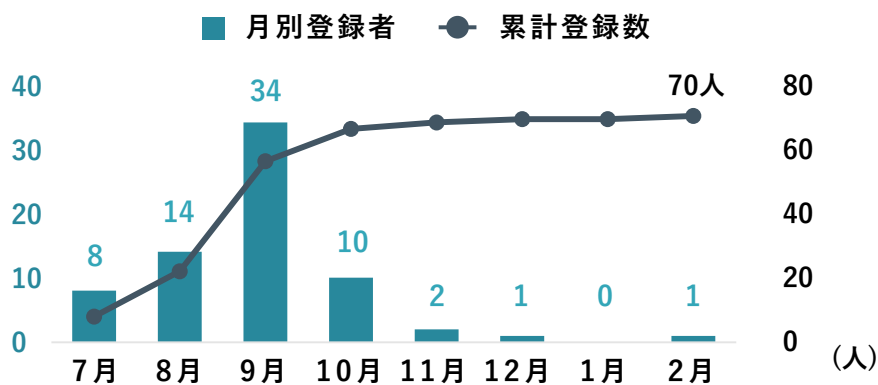
ご登録いただいたプロボノワーカースタンプの皆様に、
やまぐちプロボノコンシェルジュが、
支援を求める県民活動団体を紹介するとともに、
プロボノ活動をサポートします。



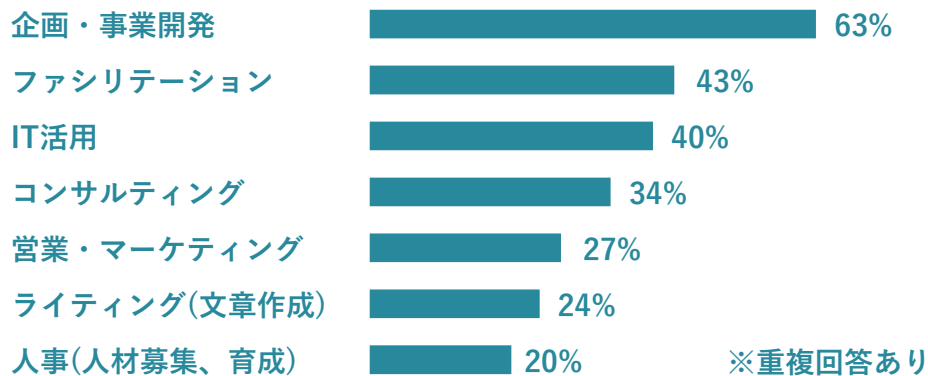
「プロボノワーカーバンク」情報

2024年3月時点での情報をお届けします。

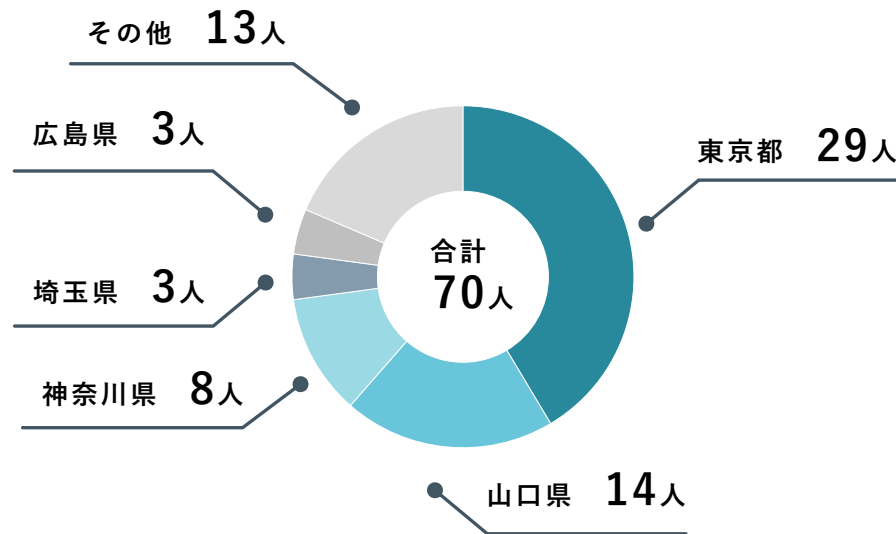
月別登録者数・累計登録者数



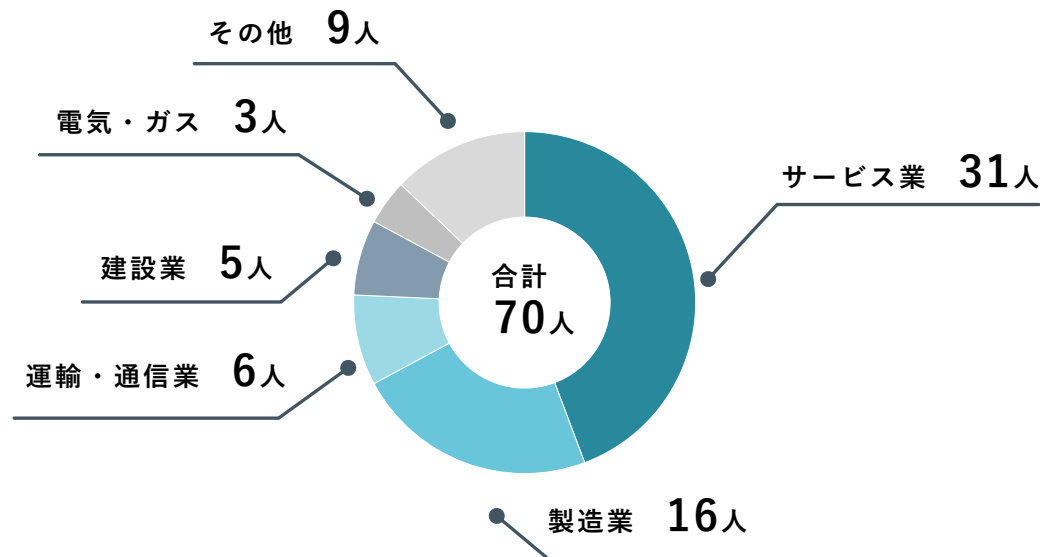
プロボノワーカースキル所有率



都道府県別ワーカー数



プロボノワーカー業種別人数



団体紹介

NPO法人いわくに ネットワークグループ

岩国市

活動内容

市民活動の振興に寄与することを目的に、協働及び運営のサポートを行っている。（いわくに市民活動支援センター事業・地域づくり協働推進事業・地域活性化イベント支援事業・地域少子化対策業）



団体が抱えていた課題

市民活動支援センターの登録団体や法人の会員に対し、情報共有できるツールを活用し、時代にマッチした運用を行っていきたい。

- 情報共有について、安価でかつ簡易的に行う方法を知りたい。
- 情報発信ツールを作成したい。
- 他団体との情報共有方法を知りたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年12月～2024年3月



活用したワーカーのスキル

- IT活用
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

登録団体や会員に情報共有を行うためのツールについて、どのツールを活用するか等の提案やアドバイスをいただいた。

- GoogleDriveの共有における、編集/閲覧とモードの違いを学び、団体で利用できるようになった。
- GoogleDriveの無料版を使用していたが、有料版の有用さを教えていただき、導入することを視野に入れた。

今後の展開

- 日常の業務の中で一通りの操作をセンター職員全員ができるようになることを目指したい。
- 利用するツールについては、それに伴う懸念事項を整理し、導入を検討していきたい。

団体紹介

NPO法人 エコフレンズいわくに

岩国市

活動内容

市民の立場から、ごみの減量やリサイクル・リユースの推進に寄与することを目的に、岩国市民に対して、リサイクル・リユースに関する事業を実施している。



団体が抱えていた課題

企業等へ活動をアプローチするため、情報発信を強化したい。

- 現在のWebサイトへのアドバイスがほしい。
- 現在発信中のブログへのアドバイスがほしい。
- その他有用な情報発信の手段があれば知りたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2024年1月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- コンサルティング
- 広報

課題に対する活動及び成果

利用者層の分析を行い、Instagramを新たに導入した。
また、それに対する工夫やアドバイスをいただいた。

- 若い世代の認知度向上に向けては、Webサイトのリニューアルよりも、SNSの活用が効果的であるとのアドバイスを受け、新たにInstagramを開設した。
- 初回のInstagram投稿をもとに、見やすさや認知度を上げるための工夫、改善点等についてフィードバックをもらった。

今後の展開

- 引き続き団体内でも見直しを行いながら、認知度向上に向けたInstagramの更新を継続していく。

団体紹介

認定NPO法人 こどもステーション山口

山口市

活動内容

子どもたちが芸術文化に親しみ、たくさんの人との関わりの中で、社会体験や社会参画の機会を広げ、豊かな「子ども時代」を過ごすことができるようサポートを行っている。



団体が抱えていた課題

企業等へ活動をアプローチするためのツールや、団体の活動に対する支援者・寄附者を増やしていく方法を知りたい。

- 企業との連携・協働を進めるための、アドバイスがほしい。
- 継続的に活動資金を得る方法を構築したい。
- 寄附付き商品の取組（「支え人。」）をもっと広げたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年12月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- 企画・事業開発
- ライティング（プレゼン資料作成）
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

企業等へ活動をアプローチする際のプレゼン資料作成、既存SNS（Instagram）の効果的な運用方法の検討・反映を行った。

- 企業との連携が十分にできていない現状の中、どのようにアプローチしたらよいかアドバイスをいただいた。
- 団体の理念に賛同してくれる支援者・寄附者を増やすため、対外的に上手くアピールする方法として、プレゼン資料を改めて作り直した。
- SNSを効果的に運用していくためのコツを学んだ。

今後の展開

- プレゼン資料を対象者ごとに作成するなど、見直したい。
- SNSの運用を理事・会員で協力して行っていきたい。
- 今まで掘り下げができていなかった企業へ具体的にアプローチを図っていきたい。

団体紹介

NPO法人 シンフォニーネット

下関市

活動内容

自閉症・発達障害児者とその家族、関係者への支援を行っている。
また、障害者就労継続B型事業所「mimihana カフェ」の運営を行い、毎月1回、老若男女を対象とした「新地町だんらん食堂 1・2・3」を開催している。



団体が抱えていた課題

“映える”SNS活用のコツを学びたい。
その他、スタッフの育成やスキルアップもしていきたい。

- 面白い取り組みをしていると思うが、それをもっと魅力的に見せていく方法が知りたい。
- 現在運営しているSNSを見てもらい、印象やアドバイスをお伺いしたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年11月～2024年3月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- 広報
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

SNSを活用する根本的な目的である「誰に対して何を伝えたいのか」を分析し、情報発信における見直しを行った。

- Facebook等のフォロワーの属性や地域など、発信したい情報と受け手側のミスマッチがないかなど、ターゲットを意識した情報発信を行うといいとアドバイスをいただいた。
- SNSのフォロワーやいいね分析を行った。

今後の展開

- 情報発信を担当できる人材の育成、スタッフのスキルアップ
- 「mimihanaカフェ」の職員も交えて課題認識や解決案の共有を行っていく。

団体紹介

NPO法人つなぐ

長門市

活動内容

進学や就職で、長門市から出て行った若者が戻っていないことへの対策として、長門市にも働く先があること、挑戦している人がいることなどの情報発信、キャリア教育・ICT利活用のお手伝いを行っている。



団体が抱えていた課題

市民にもっと団体の活動を知ってもらうため、認知度向上の手法などを学び、情報発信力を強化したい。

- NPOの活動内容を伝える、短くわかりやすい資料を作りたい。
- どんな媒体で発信すべきか、詳しい方と一緒に検討したい。
- 団体の活動の価値を伝え、様々な方の協力を募りたい。
- 認知度を上げ、情報を必要とする人に活用してもらえる団体になりたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年11月～2024年3月



活用したワーカーのスキル

- IT活用
- 営業・マーケティング
- ライティング（プレゼン資料作成）
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

外部へ団体の活動内容を伝えるための資料作成や、その効果的な活用方法などを検討した。

また、新たな団体内のコミュニケーションツールとして、チャット等（Microsoft Teams）の使い方を学んだ。

- 活動を伝えるに留まらない、関係者に協力を呼び掛ける資料が完成した。
- 迅速な資料作成プロセスの実践と習得ができた。
- Microsoft Teamsの機能をワーカーから教えてもらった。
- 今後の団体活動に対する気づきが得られた。

今後の展開

- 完成した資料をさらに磨いていきたい。
- 今回の活動で得られた気づきを今後の運営に活かしていく。
- 団体の認知度を上げるための様々な施策に取り組んでいく。

団体紹介

長門郷土文化研究会

長門市

活動内容

長門市を中心に、郷土の歴史や文化について記録に残すべき事柄を収集し、年1冊会誌を発行している（通算35冊）。また、会誌における寄稿者の作品に対する想いなどを語ってもらう講演会などを開催している。



団体が抱えていた課題

今まで紙媒体のみであった会誌を電子化したい。
また、会誌をWeb上で一般公開することによって、新たに発生する諸問題を解決し、健全な運営を行っていきたい。

- 会誌『郷土文化ながと』の電子化のサポートをお願いしたい。
- 電子化した後の運用方法について、アドバイスがほしい。
- 会誌を一般公開することに伴う、収入減の対策を検討したい。
- 会誌の扱いやすさと会の運営が両立する方法を検討したい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年10月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用
- 会計・経理
- 広報
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

会誌の電子化（PDF化の方法、著作権・セキュリティ対策）や、会の持続可能な運営方法について検討し、反映した。

- 会誌の電子化（文字の検索が可能なPDFにデータ化）が実現したことで、蓄積された膨大な情報の中から求める情報を見つけ出す作業が容易になった。
- 一般公開に伴う著作権やセキュリティ対策について検討した。
- 会の運営方法を見直すきっかけとなり、理事会内での議論の活性化につながった。

今後の展開

- 今後の一般公開に向け、著作権者全員からの許諾を得る。
- 電子化した会誌の配布方法を検討していく。
- 新しく決まった運営方法等の変更点を周知していく。（有料会員への説明など）

団体紹介

檜原ゆうあい会

下関市

活動内容

下関市豊田町檜原地区を中心として、市・県道沿い2,000mに花を育てる「花のまちづくり」と、地域資源である自然と歴史を活かした「学びの郷」の整備・活用に取り組んでいる。



団体が抱えていた課題

整備作業の人力を確保したい。
団体活動の周知を目的とした、情報発信方法が知りたい。

- 整備作業に協力してくれる人材を確保したい。
- 活動の継続、発展のために、費用をかけずに活動情報を発信したい（今までは紙媒体のみ）。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年12月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- 広報
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

団体活動の周知を目的とした情報発信に関するアドバイスをもらい、活動に反映させた。

- 情報発信及びつながり拡大のため、滞っていたFacebookの活用を再開した。実際にスマホで写真を撮り、Facebookで活動状況の発信を行った。
- 紙媒体のチラシからFacebookへ誘導するため、QRコードを作成し、チラシや案内板等に載せる方法を学んだ。

今後の展開

- 団体のメンバーで手分けをしながら、今後もSNSを活用した情報発信を継続し、交流人口の増加につなげる。
- Facebookだけでなく、将来はInstagramなどの活用も視野に入れ、大学生など若者を巻き込み、最適な情報発信を行っていく。

団体紹介

日本ボーイスカウト 山口県連盟山口第3団

山口市

活動内容

山口市内を中心に、スカウト活動を実施している（創立60年）。県内各地での宿泊訓練やボランティア活動等を通じて、知識でなくリアルな自然体験を積み重ね、子どものリーダーシップ・協調性・たくましさなどを育む。



団体が抱えていた課題

運営における人材不足等の課題を解決したい。
情報発信を強化するため、Webサイト等の見直しを行いたい。

- 指導者不足、指導者の高齢化、指導者のスキル向上など、人材に対する課題を解決したい。
- アピール方法やWebサイトの見直しなど、情報発信の仕方をもっと工夫していきたい。
- 活動の拠点や倉庫等の確保など、運営の非効率な部分を解消したい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年11月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- 広報
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

情報発信や活動の効率的な運営について検討し、反映した。

- 情報発信の要素として、指導者紹介を追加する等のアドバイスを受け、指導者紹介チラシを作成した。
- 指導者間や保護者との連絡手段として、LINEやGoogleフォームの活用提案を受け、新たに指導者グループLINEを開設し、現在活用中。
- プロボノワーカーの提案をきっかけに指導者と保護者で課題の共有化が図られた。

今後の展開

- 指導者・保護者が相互理解を図って一体となり、持続可能な団体として効率的な活動・運営を目指すとともに、段階的にSNSの活用を進めていく。

団体紹介

NPO法人 フードバンク山口

山口市

活動内容

食品関連企業や家庭で発生している、食べられるのに廃棄される食品の寄贈を受け、その食品を無償で提供するフードバンク活動を山口県内9拠点で展開している。



団体が抱えていた課題

現在、県から提供いただいている食品管理システムが使用できなくなるため、新しいシステムを構築したい。

- 寄贈食品に関する管理（寄贈元・寄贈先の管理、各種帳票作成）機能を備えた、新食品管理システムの構築をしたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年11月～2024年3月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（システム構築）
- 研究・開発
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

新たな食品管理システムの構築を行った。

- 今まで使用していたシステムを、業務アプリ構築クラウドサービス「kintone（キントーン）」に移行するため、フードバンク事務所にて、食品管理における全体の流れを把握した。
- 「kintone」を活用したシステムを構築中であり、その中で見つかった課題について随時検討・整備を行っている。

今後の展開

- ボランティアで食品管理に関わる方が、簡単に間違いなく入力できる仕組みを作るため、継続的にプロボノワーカーからのアドバイスを受けながら、新たな管理システムに移行していく。

団体紹介

NPO法人 ほうふグローバルネット

防府市

活動内容

防府市及びその近隣に住む在住外国人が、地域の中でつながりをもって安心して暮らせる、多文化共生の地域づくりを目指して、外国人住民との交流イベントや、日本語教室の実施などの事業を展開している。



団体が抱えていた課題

防府市在住の外国の方へ、積極的な情報発信を行いたい。

- 生活に必要な情報だけでなく、市内のイベント情報等の日常的な楽しい情報も、積極的に伝えていきたい。
- 情報収集から発信までを、効率的に行いたい。
- 世界へ、広く発信する方法が知りたい。
- 翻訳を効率的にやる方法が知りたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年10月～2024年3月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- Web制作・デザイン
- マーケティング
- ライティング（記事作成）
- 広報

課題に対する活動及び成果

外国の方向けの情報発信基盤として、Webサイトを立ち上げるとともに、タイムリーな情報発信手段として、SNS(Facebook)を開設し、現在運用中である。

- どのようなWebサイトにすべきか、アドバイスをいただいた。
- 山口県の外国人住民の割合やSNS利用率を分析し、優先的に翻訳対応する言語や、利用するSNSの選定を行った。
- 団体に関わりのある外国の方が、母国語に容易に翻訳できるよう、「やさしい日本語」を使って作成した。

今後の展開

- ワーカー監修による、外国の方向けの「やさしい日本語」に特化した教育プログラムを考えていく。多言語化に向けた工夫もしていきたい。
- イベントやカレンダーを掲載したりなど、発信するコンテンツの種類を増やしていきたい。

団体紹介

ポポメリー

山口市

活動内容

がんの患者やその家族、がんに関心のある人に対し、相談支援・啓発活動・ピアサポート活動（同じ体験をした当事者同士が体験や悩み、生活の知恵を分かち合い、助け合うこと）を実施し、がんに関する正しい知識と情報を発信している。



団体が抱えていた課題

収支管理における事務が煩雑で、負担が大きいため、会計ソフトの構築など、会計関連の改善を図りたい。

- 会計の収支管理の精度向上と、簡易化を行いたい。
- 団体事業内の寄付金・助成金やイベント収支の管理が難しいので、整理したい。
- 収支表と明細の機械的関連性が薄く、手入力の割合が増え、検算も大変なので、いい方法がないかアドバイスがほしい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年10月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用
- 会計・経理
- コンサルティング

課題に対する活動及び成果

団体の活動に即した会計ソフトが完成した。
従来のものより活用しやすい、オリジナルのものを作り上げることができた。

- 当初は表計算ソフトを前提とした改善（セルの参照、関数の利用など）を考えていたが、プロボノ活動の中で、活動の流れを把握して利用者目線で改善（シートや表の関連性、配置など）をしていくことを学んだ。
- 事業報告書を作成する際にも、簡単に活用できるようなアイデアを盛り込むことができた。

今後の展開

- 会計担当者が使いやすいような会計ソフトを構築できたが、今後運用していく中で、新たな課題や改善部分が出てくると思われるため、継続的なサポートを受けながら、対応していきたい。

団体紹介

YAPフレンズ

宇部市

活動内容

山陽小野田市を中心として様々な場所で、子どもから大人まで楽しいと感じてもらえるイベントを開催し、このまちに笑顔と元気を届ける、子どもたちに夢を与えられる団体として活動している。



団体が抱えていた課題

イベントやマルシェの運営についてのアドバイスがほしい。

- イベントの集客を行いたい。
- 一緒に運営に参加してくれる仲間を集めたい。
- 支援者、ボランティアを増やしたい。
- 企業との連携や協働を図りたい。
- 申請書やプレゼン資料を作成したい。
- 運営資金を確保したい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年12月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- コンサルティング
- 営業・マーケティング
- 企画・事業開発（資金調達手法）

課題に対する活動及び成果

課題の明確化やその整理、運営における有意義なアイデア出しができた。

- イベント回数を見直す必要性や、イベントの集客におけるアピールの仕方を学んだ。
- ラジオを通じて、活動アピールをしていくことが決まった。
- 補助金事業の情報提供を受けた。

今後の展開

- イベントスケジュールとボランティアの人材確保のバランスを取りながら地域浸透をめざす。
- 引き続き、Zoomなどによる相談・アイデア出しを継続していく。

団体紹介

山口県ボッチャ協会

山口市

活動内容

重度障害者のスポーツ「ボッチャ」の普及や、大会への出場、審判員の育成を行っている。ボッチャを通じて、外出の機会や地域との交流機会が少ない重度障害者が、より一層有意義で目標を持ち社会性を養いつつ自立した日常生活が送れるよう支援している。



団体が抱えていた課題

選手のサポーター（介助者）や大会遠征時の帯同者、練習相手、戦略指導者などが不足しているため、幅広く人材を確保していくためのアピールツール（動画・Webサイト・チラシなど）を作成したい。

- サポーターや帯同者などの人材を募集したい。
- アピールツールの作成を支援してもらいたい。
- ボッチャを好きになっていただき、それぞれの得意分野で活躍できる人、アドバイスをいただける人を増やしたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年10月～2024年3月



活用したワーカーのスキル

- IT活用（SNS活用）
- Web制作・デザイン
- 人事（組織マネジメント）
- 広報

課題に対する活動及び成果

ボッチャの魅力をより多くの人に知ってもらうため、今後何を作成していくべきか、どうアプローチすべきかの検討を行った。

- アドバイスを受けながら、ボッチャの魅力を伝えるためのWebサイトを新たに作成した。
- Webサイトを管理するツールの活用などについて、アドバイスをいただいた。

今後の展開

- Webサイトやその他情報発信ツールの内容を充実させていきたい。
- 動画やチラシを作成し、ボッチャの魅力を発信していきたい。
- ボッチャの各種大会の運営補助や、情報発信に協力頂けるボランティアの確保を図りたい。

団体紹介

認定NPO法人 山口せわやきネットワーク

山口市

活動内容

さまざまな社会課題に取り組む、市民や市民活動団体の一步を応援する活動を実施している。（山口市市民活動支援センター“さぼらんて”事業、高齢者サロン事業、子どもの貧困支援・対策事業、萩市子ども第三の居場所事業等）



団体が抱えていた課題

Webサイトを改善したい（Webサイト管理にかかる時間を減らしたい、見たいページに行き着くまでが遠い、検索ワードがヒットしないなど）

- 情報量が多いため、必要なものを探しにくく、管理も難しい。
- 残すべき情報と削除すべき情報の判断がつかなくなってきているので、整理したい。
- アクセスしても1ページ目で離れているようなので、しっかりと中身を見てもらえるような導線づくりをしたい。

今年度のプロボノ活動内容

活動期間 2023年10月～2024年2月



活用したワーカーのスキル

- IT活用
- Web制作・デザイン
- ライティング
- 広報

課題に対する活動及び成果

Webサイトの改善方針及び効果的な運用方法等を検討し、反映した。（記載内容の改善、不要ページの削除、サイトマップ作成など）

- Webサイト登録団体へのヒアリングを行い、使い方の実態に合わせて改善を行った。
- サイトマップの作成により、Webサイトの内容の把握につながった。
- 適切な情報量になり、管理しやすくなるとともに、情報が正しく伝わるWebサイトに改善できた。

今後の展開

- 引き続きWebサイト改善作業を進めていく。
- 「ボランティアに参加したい」人が、実際の「参加」につながるようにする（登録団体に協力してもらい、「さぼらんて」経由でボランティアに申し込んだ人にアンケートを行い、集計する）。

ワンデイプロボノ 活動報告

ワンデイプロボノとは？

仕事上身に付けた専門的な知識や技術を活かしたボランティア活動「プロボノ」を、1日で体験できるのが、「ワンデイプロボノ」です。

県民活動団体が、日々の活動の中で課題として抱えながらも、なかなか解決する機会がなかった様々な課題について、短期集中型の支援を通じて解決を図ります。

ワンデイプロボノの内容

Zoom の使用方法の学習とホストの体験

Zoomアカウントの作成からミーティングに参加する手順や、ホストとしてミーティングを開催する方法を学んだ。

※活動日や参加団体等は、活動報告01～03参照。

その他、別テーマでも4件実施

- ・インボイス制度への対応について
- ・既存Webサイトの見直しについて
- ・今後の事業展開について
- ・収益事業化の状況と、今後のアクションプランについて

活動報告 01

2023年11月9日（場所：宇部市）

【参加団体】

- ・チャイルドラインやまぐち
- ・YAPフレンズ
- ・NPO法人iCom



活動報告 02

2023年11月30日（場所：岩国市）

【参加団体】

- ・NPO法人いわくにネットワークグループ
- ・NPO法人エコフレンズいわくに
- ・公益社団法人日本オストミー協会山口県支部
- ・要約筆記いわくに



活動報告 03

2023年12月27日（場所：防府市）

【参加団体】

- ・防府リボンの会
- ・古典芸能 南京玉すだれ 山口保存会



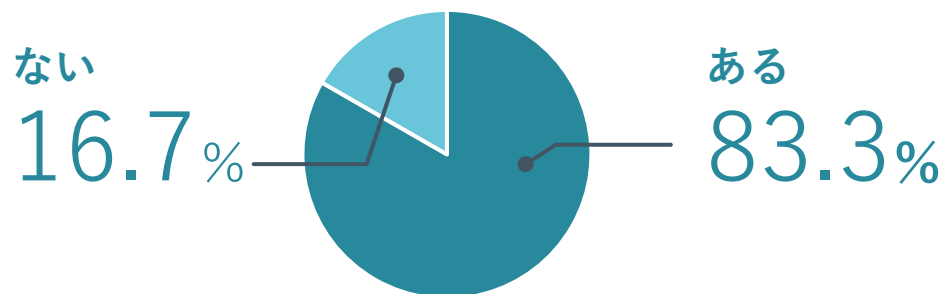
アンケート結果のご報告

プロボノワーカー編

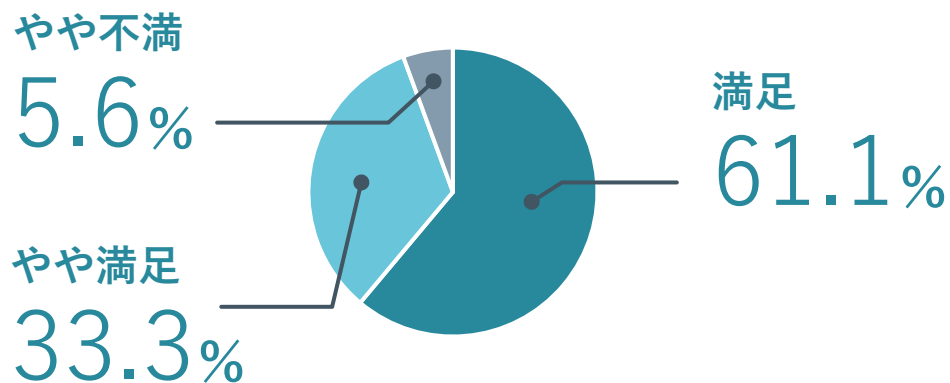
今年度の事業のまとめとして、皆さまの声を聞くべく「アンケート」を実施しました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。アンケートの集計結果やいただいたお声、ご意見などを紹介いたします。

(回答数： 18件)

Q 今年度の事業以外でのプロボノ経験はありますか？



Q プロボノ活動を通しての内容の満足度を教えてください。



Q プロボノ活動に参加する一番のメリットを教えてください。

- 自分の仕事以外の立場で関わる事で、客観的視野と主観的視野のバランスをとった自己成長ができること。
- 人脈が広がることと、知らない業態の課題を知ることができることが良い。
- 新しい価値観・視点・考え方に触れられること。

Q 今後のための見直すべき点や改善点を教えてください。

- 本取組の情報発信性を高める必要があると思う。
- もっと、広くプロボノ活動を募集されると、若い世代の方も参画していただけるのではと思う。
- プロボノメンバー自身が、身近なところから輪を拡げていく必要があるのかなと思う。

Q 全体を通じてご意見等あればお願いいたします。

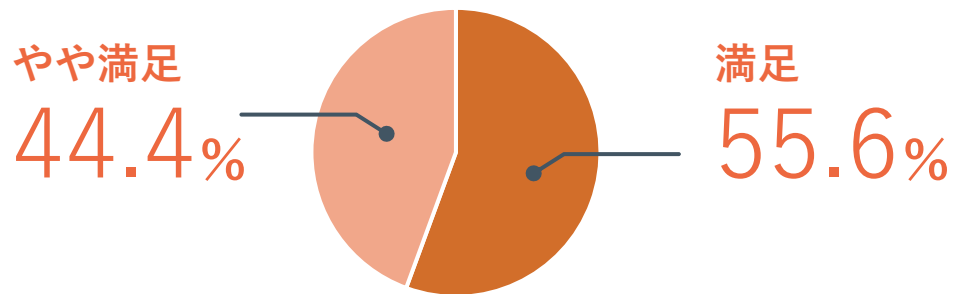
- 本プロボノ活動を通じ、社会課題に対して視野が広がりました。また本業以外で少しでもお力になれることがあることに気づき、大変貴重な機会を頂いた。
- 単年ではなくフォローアップも含めて、長期にわたる支援が必要なのではないかと思われる。
- 自身の専門性を活かして貢献できた実感があり、有用感も感じられた。
- 今年度活動終了以降も別の課題で交流を続けられそうだ。

アンケート結果のご報告

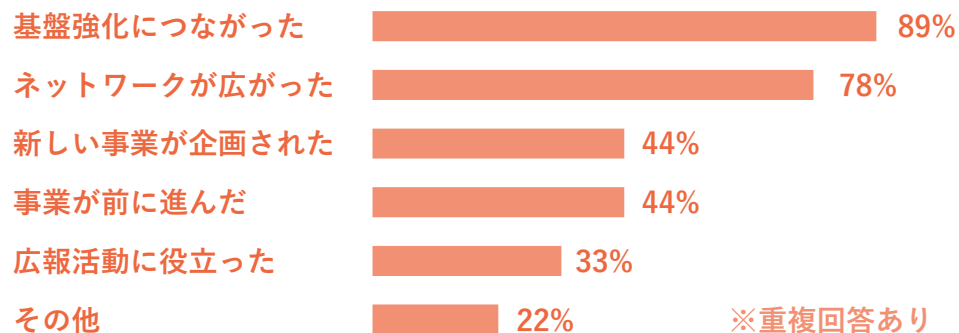
支援受入団体編

今年度の事業のまとめとして、皆さまの声を聞くべく「アンケート」を実施しました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。アンケートの集計結果やいただいたお声、ご意見などを紹介いたします。
(回答数： 9件)

Q 本事業に参加しての満足度を教えてください。



Q 本事業の参加を通じてよかったことを教えてください。



Q 今後のための見直すべき点や改善点を教えてください。

- 現地での交流時間がもう少し長くあるとよかった。他のプロボノの方達との交流も深めたかった。
- プロボノの提供するスキルと受入団体の求めるニーズとが合っているか、再調整するプロセスが入るとよかったのではないかと感じた。
- 紹介されて始めたが、基本的スタンスやどこまでお願いしたらいいのかわかりづらかった。
- 12月くらいからの開始だったので、2,3月での終了はかなりタイトな感じだった。これから団体内で消化して実のあるものにしていかないといけないなと思っている。でも本当に良い機会で、アドバイスと共に刺激をいただいた。
- 開始時期が遅かったのと、得意ではないITノウハウを理解するのが難しかったせいで年度内にゴールできなかった。事業のため年度での区切りは必要だと理解しているが、やはり、ゴールしたかったので心残りもある。引き続きご協力をいただけるとお聞きしているので、ゴールできるよう進めたいと思う。